

由岐小だより

由岐小の HP→



うばめがし

校訓 「たくましく ゆたかに」

令和7年10月3日（第6号）

「あきらめず 一致団結 全力ダッシュ！」

由岐小中学校合同運動会では、大変お世話になりました。ご来賓の皆様、地域・保護者の皆様には、子どもたちへ温かいご声援をありがとうございました。今年度は「世界を巡れ！由岐っ子万博」など小中学校合同での種目が増え、互いに応援したり、力を合わせて勝利をめざしたりする姿がたくさんみられました。中学生の迫力のある演技や小学生の一生懸命に競技する姿、ゆきっこ連の鳴り物さんのぞめきのリズムに合わせて上手に踊った阿波踊り、心を一つに演奏できた鼓笛、特に「ミャクミャクとバトンをつなげ！ゆきっ子リレー」では、大接戦の勝負や、友達との絆に、ぐっときた感動の運動会となりました。子どもたちには、この運動会開催の過程で、がんばってきたことや学んだことなどを活かし、これからも由岐の町をさらに元気にしてほしいと思います。



よーい、どん！



上手に運べるかな？



「エールを送ります！」





大接戦の末 ・ ・ 優勝は赤組です！

生命（いのち）の安全教育出前授業

9月3日（水）「生命（いのち）の安全教育」の出前授業がありました。大阪から NPO 法人えんばわめんと堺の北野真由美先生が由岐小学校に来てくださいました。北野先生は、大阪を中心に全国各地で講演や出前授業をされている大人気の先生です。

「生命の安全教育」とは、子どもたちを性犯罪・性暴力の被害者にも加害者にも傍観者にもさせないという人権教育の一環です。由岐小学校では健康教育（包括的性教育）の観点からも研究・実践し「自分も人も大切にする」子どもを育てたいと考えております。

北野先生は授業のなかで、「聴」という漢字一文字の言葉のなかに「目」「耳」「心」があること、そして「目、耳、ハート（心）は聴く合図」という素敵な言葉を教えてくださいました。相手の話は、目と耳、心で聴く。それが相手を大切にすることです。

1～3年生の授業では、「自分の体は自分のもの。どの子も大切な一人一人です。だから、自分の体を大事にするために、清潔にし、食べて寝て分解させて排泄するという生活のリズムを整えることが必要。また、大切なもの（赤ちゃんのもと、血液・内臓など）が中に入っている友達の体をパンチしたり、背中をどんと押したり、体のことをからかったりするなど、お互いの体や心を傷つける言動をしてならない。「プライベートゾーン」は自分のもので、人にさわられそうになったら、「やめて！」とはっきり伝えることを教えていただきました。

4～6年生の授業では、北野先生が質問したことに対して、子どもたちは、自分があてはまるかどうか、自分自身で考えて意思表示をするという学習活動がありました。「いやなことはいや。」と言えることが大事です。葛藤したり、迷ったりしても人数の多い方に流されるのではなくて「違いは宝物」なのだから、自分で決めることが大事。また、考えや意見の違い少数の人の話を聴きましょうと北野先生が話してくださって、気持ちが少し軽くなり、心が明るい方に変った子どもがいます。他にも、模型や絵本で、思春期の体や心の変化や、手当の仕方、体調の悪い時の対処法、周りの人ができる優しい接し方など具体的に学ぶことができ、子どもたちは安心したようです。この度の「生命の安全教育」出前授業では「自分の体は自分のもの」「お互いの気持ちを尊重する」という学習ができました。



☆「大切な体」を学習して、体の中には大切なものがあるから、自分も友だちも、体をだいじにしてあげたいです。（中学年児童の感想より）